



★3月部会は鹿ヶ谷基地の里山の梅が満開、コバノミツバツツジなど木々が芽吹く季節になる中、砂防堰堤が4月より工事開始に伴う工事エリア内の倉庫、バイオトイレ移動後の庭木(10本)の移植作業と、湯来町「松波様一角をお借りしている製材機の仮移動後の復旧据え付け、製材機の試運転を行いました。移植はみどり会様の活動のフィールドの一角にある「メダカの池」のほとりに「びわ、銀杏」、入口看板横に「枝垂桜」移植。また、白木町三田の日頃活動のご支援いただいている妙國寺フィールドに、「梅、銀杏、びわ」を移植しました。みどり会様のメダカ池周囲、妙國寺フィールドで7年間クラフト部会の拠点で活動を見守ってくれた10本の樹木が各々のフィールドに集う方々の和める木へ大きく成長することを期待します。4月から部会活動拠点周りが工事関係で入場他制約を受けることになるかと思いますが、なんとか立ち退きまでは至らず部員一同安堵し、4月よりの活動計画の話し合いをして頂きました。約1年近くの工事で完成となりますが、その先に向け一区切りついたと思います。

4月より、新たなリーダーのもとにて、クラフト部会の集う役割として、森林資源の維持管理・活性化等で得た間伐材、除伐材の有効活用する理念に立ち戻り、また森林資源を活用し木工工作と里山の恵みを広報するボランティア活動など楽しみ、健康管理・仲間との協調を含め移植木と同じく会員皆様の協力と供に大きく成長して行きたく考えております。4月よりの新たなスタートよろしくお願い致します。



「みどり会メダカ池」周囲の植樹
北野さん



梅の木植樹(妙國寺)
中村さん



ブッポウソウ巣箱横の
びわの木(妙國寺)



製材機の据え付け試運転
(松波邸)



朝夕の寒暖差が気にならなくなり、桜の開花宣言予報もメディアで流される季節になりました。今年度最後の里山部会を、妙國寺裏山のスクウスクの森で開催。ナラ枯れ病樹木の除伐、鹿よけネットの追加、樹木の植え替えの作業を行いました。ナラ枯れ病除伐は、2班体制で、チルホール使用の班(A班)・比較的作業しやすい班(B班)に別れ、A班は3本、B班は5本の除伐を行いました。B班には、部会初参加「もりメイト育成講座26期生」の平尾さんが参加。普段はご自分の山でお1人で作業しているそうで、チェーンソーの安全動作の再確認を鎌田さん・本廣さんが付きっきりで指導されました。4本伐倒しましたが、最後の1本は、指導者の手を借りずに見守られながら作業、無事玉切りまで行うことができました。終礼では、『だいぶん鍛えられました。何とかできましたが、今後も安全に注意して作業を行います。』とのことでした。

今回は、倶楽部のマニュアルから逸脱した場面があり、即、軌道修正。安全のため、班で作業する場合はチェーンソーの稼働を班で1台と決めています。作業能率より安全優先！しかし、なんと5台のチェーンソーが同時に稼働する場面が見受けられ、作業を中断し作業工程の徹底を図りました。また、丁寧な棚積みを中心掛ける事が疎かになって



伐倒後の確認 本廣さん(左)と平尾さん



鹿よけネットを補強する。

いる場面も見受けられ、ある人から、「伐るのは誰でも出来る、棚積みがどうしてもできないのであろうか」との意見も出るほど。棚積みは、長さを決めて出来るだけ両端を揃え、きれいに見栄えよく行うことが大切。今後の課題としていきます。午後からは、スムーズに作業が進み14時30分に終了し後片付けを済ませ15時解散。今回は、4月9日地域貢献活動の草刈りと、水路清掃を行います、7時50分小川フィールドに集合、特に草刈りをよろしくお願いします。本部会は通常通り9時開催です。当日の参加者20名。